

第4回 個別商談会「農と食の出会い」を開催

大阪で初 農業法人8社の 販路拡大を支援

当機構は、3月16日(水)に、第4回 個別商談会「農と食の出会い」を開催し、J・PAOがサポートする生産者の思いが詰まった農産加工品が初めて大阪に集結しました。

個別商談会「農と食の出会い」は、今回初めて場所を大阪に移して開催いたしました。

北海道から九州まで全国から8社の農業法人にご出展いただき、商品もフルーツやジャム、野菜パウダー、わさび加工品、養鶏、お茶など多岐にわたりました。バイヤーは関西圏のホテルやレストラン、小売業など11社にご参加いた



【商談会の様子】



【出展者のパンフレット】

きました。
この個別商談会は、大規模な展示商談会とは異なり、出展者とバイヤーが膝を突き合わせてじっくりと話をしてもらう場を提供するものです。



【商談会の様子】

事前に出品者と商品のあらましをバイヤーにお知らせし、バイヤーの希望に沿った商談スケジュール(ニコマ20分)を事前に組みます。

そのため、事後のバイヤーアンケートでは、「生産者と一対一でじっくり話ができた」「資料では分からない商品の特徴やこだわり、苦労話を聞くことができた」などの感想をいただきました。

また出展商品に対して、「品質が高く魅力的」「当店のメニューに取り入れることを検討したい」など好意的な意見

が多く、すべてのバイヤーが、「出展者との取引について今後社内でも検討する」と回答されています。

今回は、午後だけで合計43組の商談を実施しましたが、中には、早くも成約したとの嬉しい報告がありました。

当機構は、販売支援事業の一環として、今年度も個別相談会を開催する予定です。ご希望などありましたら、お気軽にJ・PAO事務局にご連絡ください。



【全体の集合写真】

□ 専門部会の動き（3月分）

【事業化支援・販売支援①】

昨年度の活動を部会メンバーで振り返りました。

昨年度の主な活動は下記の通りです。

- ・ 直播と田植の組み合わせから考えるコスト削減
 - ・ 労務費のコスト削減
 - ・ 農業の規模と働き方についての考察
- また、コスト削減について、農業機械や圃場整備などについて意見交換しました。

今回は、今年度の専門部会のテーマについて議論する予定です。

【人材育成】

2月に終了した企業派遣型課題解決ワークショップ、3月に開催したトップマネジメントセミナーととちぎ農業ビジネススクールの報告等を行いました。

また、昨年度の活動を振り返り、「実務で携わった際、第三者への経営継承のしぐみの必要性を感じた」などの意見がでました。

今回は、今年度の専門部会のテーマ、人材育成事業について議論する予定です。

【事業化支援・販売支援②】

6次化商品（米加工品）の商品性について討議しました。

主な意見は下記の通りです。

- ・ パッケージに「無農薬」などの表示がないため、他社商品との差別化が弱い。
- ・ 健康志向のニーズに応える食品と思われる。機能性成分の調査・分析などを行って機能性を訴求してはどうか。

また、昨年度の活動を振り返り、「生産者にフィードバックしたあとの結果を知りたい」「数ヶ月かけて1つの商品を討議してはどうか」などの意見がでました。

今回は、今年度の専門部会のテーマについて議論する予定です。

□ 会員の活動紹介

3月の企画運営委員会で、東日本旅客鉄道株式会社（JR東日本）と大阪堂島商品取引所の2会員から活動内容をご紹介いただきました。

東日本旅客鉄道株式会社からは、アグリビジネスへの取り組みや現在進行しているプロジェクトなどについてご紹介いただきました。

大阪堂島商品取引所からは、事業概要やこれまでの歩み、先物取引について学べる堂島先物塾などについてご紹介いただきました。

□ 主な活動（4/1～4/28）

4/8 講師（山梨県）（大泉会員）

4/13 第102回企画運営委員会

4/15 講師（山梨県）（高田）

【事業化支援・販売支援③】

昨年度の活動の振り返りと今年度の活動について意見交換しました。

部会メンバーからは、「専門部会に農業参入を検討している事業者等に参加してもらいメンバーと意見交換してはどうか」などの意見がでました。

今回は、今年度の専門部会のテーマについて議論する予定です。

～事務局からのお知らせ～

J-PAO 会員みなさまに、J-PAO Press を有効活用していただきたいと思っております。

J-PAO Press の紙面等を使って、主催イベントを知らせたい、新規事業の取り組みを紹介したいなど希望される方がいらっしゃいましたら、J-PAO 事務局までご連絡ください。